

# やまが

平成27年8月1日 発行／山鹿市議会

# 市議会だより

第6号



鹿央古代の森交流施設「里やま」の古代ハス園 H27.7.1 撮影

**もくじ** ▶ 審議した議案と結果一覧・賛否表・討論の概略 … P2  
常任委員会審査と報告 …………… P3～5  
議会報告会 …………… P6  
市政のここが聞きたい（質疑・一般質問） …… P11  
議会の動き・全国市議会議長会表彰・傍聴にきませんか  
…………… P12

# 平成27年6月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第66号	専決処分の承認を求めることについて(山鹿市税条例等の一部を改正する条例)	承認
議案第67号	専決処分の承認を求めることについて(山鹿市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第68号	専決処分の承認を求めることについて(山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第69号	山鹿市情報公開条例の一部を改正する条例	可決
議案第70号	山鹿市税特別措置条例の一部を改正する条例	可決
議案第71号	山鹿市介護保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第72号	山鹿市幸の国健康館「ゆ〜かむ」条例を廃止する等の条例	可決
議案第73号	山鹿市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第74号	山鹿市林野委員会条例を廃止する条例	可決
議案第75号	山鹿市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例	可決
議案第76号	山鹿市立学校条例の一部を改正する条例	可決
議案第77号	八千代座等条例の一部を改正する条例	否決
議案第78号	平成27年度山鹿市一般会計補正予算(第1号)	可決
議案第79号	財産の譲渡について	可決
議案第80号	財産の処分及び譲渡について	可決
請願第4号	戦争法案(安全保障関連法案)撤回を求める請願書	不採択

## 賛 否 表

○は賛成 ●は反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18	19	20
議 案	服部 香代	富田 弘海	永田 健	稲葉 昇	富丸洋一郎	藤本 峰秀	北原 昭三	芹川 正美	藤原 豊	平井 邦廣	吉本 政幸	池田 誠一	堀 茂幸	永田 紘二	横手 啓介	太田黒鐵郎	丸山 寛治	寺崎 勇児	丸山 康昭
議案第72号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●
議案第74号	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	●	●	●	○
議案第76号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	●	○	●	●	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●
議案第80号	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

上記以外の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。

## 討論の概略

◎議案第72号・議案第80号

〔反対討論〕

太田黒鐵郎議員

「ゆ〜かむ」の建設等には20億以上が投資されているのに建物無償、土地3千723万円では安い。慎重に売却しなければ市民に説明がつかない。

◎議案第74号

〔反対討論〕

太田黒鐵郎議員

林野委員会を廃止することは、森林に対する認識不足である。

◎議案第76号

〔反対討論〕

丸山康昭議員

防災対策など住民への説明不足・事業内容や費用の判断材料不足・小中一貫校制度化を含んだ改正教育法の施行状況を調査すべき・校舎は新築で、4点をもって反対。

〔賛成討論〕

吉本政幸議員

学校は子どもたちの為のものであり、その最大の理解者である保護者会の判断は最も重要。それを応援していくべきと考える。

◎議案第77号

〔反対討論〕

服部香代議員

高額入場料の公演は、単なる興行ではなく、宿泊を伴う観光客の増加になっている。事実上値上げにより一流の文化に触れる機会が減り経済効果も失う。

〔賛成討論〕

富田弘海議員

八千代座の経済的・文化的活用の面からも、また、公共施設管理の公平性の面からも適正と考える。

〔反対討論〕

横手啓介議員

本来ならば市の自主事業として行われるべき事業を民間で役割を担っている。この条例は市の活性化に逆行するものと考えられる。

# 八千代座等条例の一部を改正する条例について審査！

総務文教常任委員会 6月12日開催

◆付託案件 議案 5件……可決

請願 1件……不採択

## ◆主な審査内容

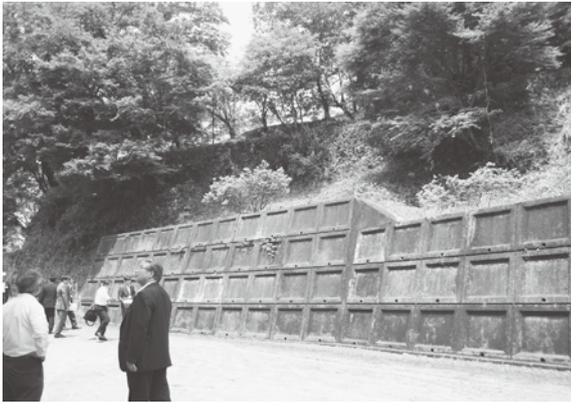
### ■教育委員会関係

議案第76号 山鹿市立学校条例の一部を改正する条例

**問** 登下校時災害が発生した場合、対応の仕方は考えているか。

**答** 災害の発生に関しては学校の方で事前に情報等を見据え早めの対応をとる。

統合校に限らず、どの学校でも災害等に対する対策をマニュアル化している。



総務文教委員会現地調査 (土砂災害警戒区域＝八幡小学校裏側斜面)

**問** 開校準備委員会におけるスケジュールはどのようになっているか。

**答** 第1回目の開校準備委員会を、6月18日開催。準備委員会の中で部会を設け具体的な内容を協議する。平成29年3月までに全体的な協議を計画的に進める。

**問** ハード的にはどのように進めるのか。

**答** 現在実施設計を発注している。7月中の完了予定で進めている。

**問** 料金を改定した場合、主催者の負担はどう変化するか。

**答** 1万円の入場料の場合、収入に占める利用料金の割合は、5千円以上の枠(13万2千3百円)で2%となる。改正(19万8千450円)した場合、3%となり、実質1%の負担増となる。

**問** 入場料1万円以上の公演は何件あったか。

**答** ここの3年間で、5公演(16日間)があった。5千円以上の公演全体から見れば、60%近くになる。

**問** 商業的利用者の利用意欲を削がない範囲とあるが、八千代座審議会(PII※1参照)で新しい料金案についての意見は出たか。

**答** 審議会では、料金の額については一任され、そのご意見に十分な配慮をし、料金を算定した。

**問** 地域未来塾は不登校児童生徒と関係があるか。

**答** 本事業は、経済的な理由や家庭の事情等により家庭での学習が困難であったり、学習習慣が身につけていなかったりする中学生の学習支援を目的としている。不登校の子も達の中にも、学習に自身がない子もあり、対象と考えている。

**問** スポーツ環境整備事業委員の委嘱はいつごろで何名か。

**答** 委員は20名程度を目算し、第1回目の会議は7月開催を検討している。

**問** 宅地となっているがどのような状況か。

**答** 久原駐在所跡地であり、建物は解体し更地となっている。

**問** 使用目的については、自治会に任せることとなるが周辺には公的な物があるか。

**答** 霊仙交流センターがあり、隣接した土地である。

**問** 現地調査

1 来民小学校……校舎、屋内運動場は耐震補強済との報告を受けた。統合が予定されており学校施設等を視察した。

2 八幡小学校、三岳小学校……学校用地の一部が土砂災害警戒区域となっている。

現場の状況報告があった。その周辺の安全対策について確認した。

**問** 奨学資金事業の対象者になる児童数は。

**答** 年3回応募をかけており年間20名程度の応募があつてい

**問** 児童数は。

**答** 年3回応募をかけており年間20名程度の応募があつてい

**問** 児童数は。

**答** 年3回応募をかけており年間20名程度の応募があつてい



総務文教委員会現地調査 (来民小学校)

■総務関係  
議案第79号 財産の譲渡について

# 幸の国健康館「ゆ〜かむ」民間移譲へ！

市民福祉常任委員会 6月8日開催

◆付託案件 議案9件：可決

## ◆主な審査内容

議案第66号 山鹿市税条例等の一部を改正する条例（専決処分の承認）

**問** ふるさと納税の現状は？他自治体は特産品の充実で寄附の多いところもあるが市の考え方はどうか。

**答** 平成26年度は72件273万5千円。寄附金については全国でお礼の特産品を競うような状況であるが、ふるさとを応援するという本来の趣旨に基づいて使途の透明性を高め、地域づくりに役立っているということを示していきたい。

**問** 市たばこ税の収入額は？今後の税率改正はあるのか。

**答** 平成25年度は約4億680万円。紙まきたばこ旧3級品は段階的に引き上げていく。

**問** 国民健康保険税改正の影響と最高額と最低額は？

**答** 国民健康保険税改正の影響と最高額と最低額は？



市民福祉委員会現地調査（幸の国健康館「ゆ〜かむ」）

**問** 土地代のみであるが取得金額との差は適正なのか。木チップ保管倉庫はどうするのか。

**答** 土地代は、不動産鑑定結果に基づくもので、購入時とほぼ同額であり適正だと考えている。木チップ保管倉庫は譲渡せず今後も有効活用を図っていく。

**問** ふれあいセンターという地域コミュニティの役割はどのようなのか。

**答** 譲渡先の（株）三勢も地域活性化が必要という認識はされており地域コミュニケーションは十分に確保されていくものと考ええる。

**問** 譲渡時に従業員雇用については十分な配慮はなされるのか。

**答** 従業員本人の意向を確認の上、継続雇用となるよう行政としても引き継ぎ期間の中で適切に行われるよう指導していく。

**問** 議案第78号 平成27年度一般会計補正予算（第1号）

**問** 生活保護世帯数は？遊興費に使用している人がいるということも聞か、認定は不公平になつていないか。領収書による使途の証明はできないのか。

**答** 345世帯448人。遊興費等を多額に使用されると保護の

停止・廃止となる場合がある。認定に当たっては全ての資産、能力を勘案し決定している。光熱費、被服費などの領収書提出は現在の制度上できない。

## 現地調査

①小規模多機能ホーム「たけま」  
鹿北町多久に平成25年に整備された。山鹿市内12カ所にある高齢者の地域拠点施設の一つで、通所はもろろん宿泊もできる施設である。山鹿市ではこのような施設を最終的に14カ所開設していく計画である。

②幸の国健康館「ゆ〜かむ」  
健康増進施設としてプール、トレーニングジム、お風呂、食事処、テニスコートを備えたもの。平成27年度中に民間移譲を見込んでいるのでその土地、建物を視察した。



市民福祉委員会現地調査（小規模多機能ホーム「たけま」）

# 林野委員会を廃止する条例について慎重に審査！

建設経済常任委員会

6月11日・15日開催

◆付託案件 議案3件…可決

## ◆主な審査内容

【6月11日委員会】

議案第74号 山鹿市林野委員会条例を廃止する条例

森林経営計画が策定され、市有林の適正管理ができる体制が整ったため、現委員会の委員の任期満了に併せ条例を廃止するもの。

問 林野委員会の役割は何か。

答 市有林の育成と管理のための指導と助言を行う。

問 なぜ委員会を廃止するのか。

答 森林情報システムの導入により、市有林の情報把握が容易となり、管理できる体制が整ったため。

問 今後の市有林についてどのように考えるのか。

答 市として適切に管理し、守っていききたい。

問 林野委員会の委員の方々の理解は得ているのか。

答 林野委員会を開催し了承を得ている。

問 他市の状況はどうなっているのか。

答 林野委員会を設置しているのは山鹿市だけである。

★資料等を提出要請し、15日に委員会を設け再度審議を開催することで継続とした。

議案第75号 山鹿市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例

農村工業等導入地区(※1)における工場等の新設または増設の奨励措置としての固定資産税の免除の期限を延長とするもの

問 該当件数は何件で金額にして幾らの免除となるのか。

答 平成27年度においては、8件で798万円となる。

(※1) 農村工業等導入地区とは…工業等の導入を積極的に行う農村地区

議案第78号 山鹿市一般会計補正予算(第1号)

問 畜産クラスター事業とは何か。

答 畜産収益力強化のため、機械のリースや家畜飼養管理施設の整備等への補助金が交付される国の事業である。

問 市としての補助はあるのか。考えていない。

【6月15日委員会】

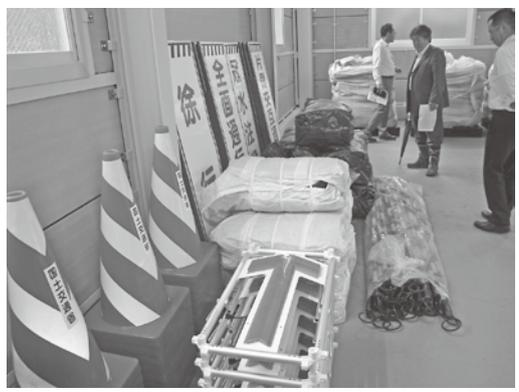
議案第74号 山鹿市林野委員会条例を廃止する条例

(市長の説明) 合併してしばらくの間は、委員会を置くとの事であったが、10年を経過し解散を決めた。森林情報システムの整備により市有林の計画管理ができるようになり、廃止とする。

問 900町歩もの森林管理を林野委員会なしで、職員のみでやるのか。

答 他市町の取り組みを参考に、区長さんなどに相談してやっていく。

★2日間わたる審議の結果挙手採決となった。



建設経済委員会現地調査 (「道の駅かほく」防災施設内災害時備蓄用品)



建設経済委員会現地調査 (「道の駅かほく」災害時使用可能な新設トイレ)

## 現地調査

### 1 道の駅かほく

- ・防災機能強化の取り組み現状を視察
- ・防災倉庫(災害時等に、必要となる救護物資や復旧材料を常時保管しておく)
- ・非常用発電機(照明・情報機器等の非常電源設備)
- ・新設トイレ(災害時にも使用可能なトイレ)

### 2 菊鹿地区水道施設島田送水施設・島田配水池

# 議会報告会を開催しました！

5月12日から5月23日まで市内5会場で議会報告会を開催しました。

各会場とも多くの市民の皆様においでいただきありがとうございました。

また、皆様からいただきましたご提言、ご意見は議会の中で議論していきます。

(一部は、今後、市議会だよりに掲載していきます。)

## 報告会のながれ

- 1 議長挨拶
- 2 報告 議会活性化特別委員会  
議会運営委員会  
総務文教常任委員会  
市民福祉常任委員会  
建設経済常任委員会

- 3 質疑応答

※時間は各会場とも午後7時～午後9時まで

①月日・会場 ②参加者数 ③主な意見・提言



①5月12日(火) 鹿北市民センター ②154人

- ③・税金滞納の不納欠損処分が多すぎるのではないかと。ゆ〜かむの売却先は決定したのか。  
・岩野小学校は早期解体を希望している。  
・オフトークに変わる通信設備を設置できないか。



①5月14日(木) 菊鹿公民館 ②105人

- ③・議案に対し、否決や修正はしないのか。  
・予算審議は委員会に付託することなく全議員で行って欲しい。  
・地域活性のための補助金は削減しないで欲しい。



①5月16日(土) 鹿本市民センター(ひだまり) ②58人

- ③・小学校統合校の位置は来民小を提示されたが昭和47年築なのにリニューアルということである。新築との比較検討をされたい。  
・定例会(議会)のお知らせが遅い。



①5月19日(火) 鹿央市民センター ②46人

- ③・議会機能、監視機能が不全である。委員会での議論の活性化を。  
・議会は住民の代表である。市民の意向を聞くことが大事である。  
・山鹿は歴史風致地区。もっと文化を大切にしたい。



①5月23日(土) 山鹿市民交流センター ②57人

- ③・議会として地場産業の活性化をどう考えているか。  
・議員定数削減されたが、今後は無投票や立候補者不足も懸念される。恩給もない報酬を上げてはどうか。  
・地域活動センターは存続の危機である。弱者切り捨てにならないような福祉政策を。

初めての報告会に合計420人の市民の皆様にご参加いただきました。心よりお礼申し上げます。

全議員20名で各地域に出向いたことでよりいっそう、それぞれの地域の課題を理解することができました。

アンケートの回収率は90.4パーセントで、84.2%の方が今後も報告会は開催して欲しいというお答えでした。

わかりやすい資料や報告、また内容等も検討していきます。いただきましたご意見や要望は議員間で討議をし、執行部へつなぎたいと思います。

# 市政のここが聞きたい!

インターネット録画中継をご覧ください。

山鹿市  
ホームページ

市議会  
一覧

定例会の  
様子

の順にクリックしてください。

## 質疑 八千代座等条例の一部を改正する 条例について

なぜ使用料値上げとなるような改定が必要だったか。メリットは何か。

### 答弁:(教育部長)

5千円以上の入場料を徴収する場合も1万円以上でも使用料の料金区分は同一であったため、不公平があり料金体制のバランスが崩れている。改定によりその不公平感を解消できる。



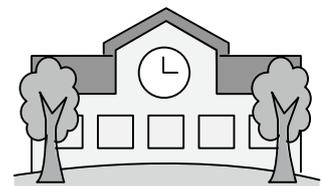
服部香代議員

## 質問 移住・定住促進のための施策について

- ① 住宅リフォーム助成事業などの各種助成事業は本年度で終了するが、継続あるいは新たな助成事業は予定されているか。
- ② 移住定住者のための空き家バンクを充実させる方策を何かとっているか。
- ③ 女性のパートなどを含めた雇用促進対策を民間と協働でできないか。
- ④ 保育料を無料化するか放課後児童クラブの充実を図るなどの政策で定住促進を図るといったことは検討できないか。

### 答弁:(①経済部長・建設部長 ②市民部長 ③経済部長 ④教育部長)

- ① 定住の他に緊急経済・雇用対策の目的で短期的な制度として実施し、一応の効果も上がったものと思われ本年度で終了する。今後の継続、新たな助成事業の予定はない。
- ② 空き家所有者への啓発を行っている。また、移住定住者の受入れ地域住民の皆様向けの講演会等を開催し、理解を求めている。
- ③ ハローワーク菊池と連携し、事業者へは民間で行う面接会の企画・運営への協力、求職者には面接会等の実施についてホームページや広報やまが等を活用し周知を図るなど、積極的に取り組みたい。
- ④ 保育料軽減率は他市との比較でも低くはない。現在の保育料を維持したい。放課後児童クラブは今後も質の向上、待機児童のいない安心して預けることのできるクラブを目指す。



## 質疑 議案第80号 財産処分及び譲渡について

幸の国健康館ゆ〜かむの建物を無償譲渡及び土地3,723万円での売却のてん末は。

### 答弁:(福祉部長)

土地代3,723万円は、不動産鑑定士の鑑定結果である。建物については、有償とした場合、国・県への補助金返還を要することになり、返還額が建物価格を上回るため、無償譲渡とした方が補助金返還するより有利である。



太田黒鐵郎 議員

## 質問 市民医療センターの運営について

現在の借入金残高が57億3,200万円で、平成53年までに返済ができるのか。また、改革プランでは、平成27年度の医師の数は30名となっているが、現在は21名であり、医師の増員の考えは。

### 答弁:(市民医療センター事務部長)

急性期を担う地域の中核病院であることが基本。今後の患者状況や経営状況次第では、許可病床数や診療体制、看護体制の検討とともに、急性期や回復期、慢性期などの病床機能も検討が必要。病院の安定した財政運営には、医師の増員確保が重要課題であり、また、診療科が増えることで患者様を含め、市民医療サービスの向上となる。市民の期待に応えられるよう、医師の確保に努力する。

## 質問 少子化対策について

少子化に歯止めをかけるため、結婚から妊娠、出産、子育てまで、どのような対策を講じているか。

### 答弁:(福祉部長)

- ◎結婚支援＝世話役15名の委嘱による「山鹿肝いりどん事業」結婚希望者登録(男性75名・女性56名)・活動内容(お見合いパーティー、結婚セミナー等)・活動成果(平成26年度末＝187組お見合い、4組結婚成立)
- ◎妊娠出産支援＝母子健康手帳交付、医療機関の14回分・精密健康診査2回分・産後2カ月産婦健康診査等の受診票交付
- ◎出産後支援＝生後2カ月、3～4カ月、7～8カ月、1歳6カ月、3歳児を毎月健診。BCG・麻疹・風疹・日本脳炎など13種類の法定予防接種を無料
- ◎子ども医療費助成事業＝18歳まで自己負担なし



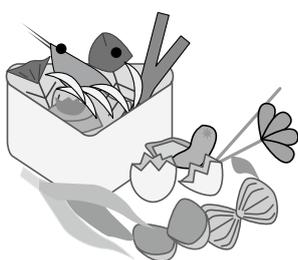
富田弘海 議員

## 質問 山鹿市バイオマスセンターの運営状況について問う

- ①堆肥の搬出状況及び維持管理について
- ②液肥の散布体制及び液肥貯蔵タンクの安全管理体制について
- ③生ごみ堆肥化施設の利用状況及び今後の生ごみ処理方針について

### 答弁:(経済部長)

- ① 堆肥の搬出量は、平成21年度をピークとして減少傾向にあるが、粗飼料用米の面積拡大などにより、耕畜連携が進んだものだと考えている。  
また、供用開始から10年が経過し、施設設備等の経年劣化が心配されるが、点検及び調査を着実にを行い、適正な維持管理に努める。
- ② 液肥散布については、現在、利用者の希望に沿えるよう散布体制を調整しており、今後は計画的な散布により、液肥の需要を伸ばすよう努めて行く。  
また、施設の定期点検及び自然災害等に備えた危機管理体制を見直し、計画的な施設の維持と安全管理体制を整備して行く。
- ③ 生ごみの堆肥化施設(H24建設)においては、堆肥の品質面から販売まで至っていないが、現在、良質な堆肥の生産ができるよう対策を講じている。  
今後は、生ごみ堆肥化施設の有効活用を図りながら、「環境保全協定」を締結している地元との協議・調整を行い、早い時期に統一した生ごみ処理方針について、方向性を提示したいと考えている。



## 質問 鹿本地区統合小学校の建設について

- ① 現在の来民小学校の既存校舎を改修する決定までの経緯について問う。
- ② 構造上の耐久性、安全性は担保されているか問う。

### 答弁:(教育部長)

- ① 平成21年1月に策定した当初計画から、既存施設を有効活用することとしている。しかし、耐震補強工事ができない施設と判断された場合、新施設建設を行っている。  
来民小学校についても、方針に基づき、有効活用することとしている。
- ② 平成25年度までに耐震性の低い教室棟と体育館の耐震補強工事を終え、教室棟、管理棟、体育館とも国の基準に基づいた構造上の耐震性は確保できている。  
しかし、一部の教室棟は、経年劣化が進み、耐力度簡略調査の結果、活用できない可能性もあり、今後、詳細な検討を進めたい。



富丸洋一郎議員



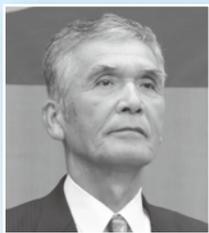
来民小学校

## 質問 合併後の職員採用について問う

- ① 合併後の職員採用の実績と内訳、今後の職員採用の見通しはどうか。
- ② 地域の実情を知る職員を確保するため地域性への配慮ができないか。
- ③ 今後、どのような考えのもと職員を採用していくのか。

### 答弁:(①②総務部長 ③市長)

- ① 合併後10年間で、病院・消防を除き、67人の職員を採用している。内訳は、男性37人、女性30人。また、市内出身者42人、市外出身者25人。  
今後、5年間で110人が定年退職を迎えることから、組織としての機能維持が図れるよう、毎年10人程度を基準に継続的に職員を採用し、年齢構成の平準化に努める。
- ② 採用試験の実施に当たっては、受験資格を定め、平等の条件で行わなければならない。  
出身地等で合否判定に差異を設けることは、地方公務員法に定める平等取扱いの原則に反することとなるので、今後も、職員採用試験実施要項に基づいた公平公正な取扱いに徹する。  
また、地域について熟知した職員と地域外出身の職員を同時に配置させるなど、業務がしっかり継承されるような体制づくりを講じる。
- ③ 今後の行政需要の動向や社会情勢の変化、退職者の状況や年齢構成等を総合的に考慮しながら取り組んでいく。  
的確な行政運営や活力あるまちづくりの原動力となるものは職員。公平公正を旨として、有為な人材の確保に努めていく。職員になりたい希望を持った多くの若者が採用試験にチャレンジされ、本市の発展に貢献いただくことを切望している。



稲葉 昇議員

## 質疑 議案第76条 山鹿市立学校条例の一部を改正する条例について



丸山康昭 議員

補助金申請時の補助金名称と補助率について問う。

### 答弁:(教育部長)

文部科学省所管の公立学校施設整備費国庫負担金事業で、補助率は、補助対象経費の10分の5.5である。

## 質問 米野岳中学校区統合小学校問題について

- ① 鹿央地区では多くの反対意見があるが、説明責任は果たされているか。また反対意見の内容は把握されていると思うが、その対応について問う。
- ② 鹿央地区での反対意見に対し、議会報告会でも多くの意見が出た。対応策について説明すべきと考えるかどうか。
- ③ 中嶋市長の公約に「公正・公平な政治姿勢で臨む」とあるが、鹿央・米田や鹿本地区の学校建設も他校と同様新築でとは考えはないのか。

### 答弁:(①教育部長 ②教育長 ③市長)

- ① 昨年6月と9月に統合の必要性や計画の経緯、統合校の位置等の説明を校区単位で説明を行ってきた。また、今後の計画等も広報紙や統合準備委員会だよりで全世帯に周知を行った。説明会での意見については、現方針を確認し、その結果を地域の皆様に書面でお伝えしている。
- ② 次代を担う子どもたちが切磋琢磨し様々な変化にも対応していけるよう、教育環境の整備に取り組んでいる。米野岳中学校とともに統合後の新たな学校の成果をお見せすることが責務と考える。
- ③ 地域や保護者等への説明を重ねながら手順を踏んで進めてきた。



横手啓介 議員

## 質問 「空家等対策の推進に関する特別措置法」に対する市の対応について

居住していても、家の老朽化が進み、将来の危険家屋となりえる家屋について、特定空家になる前の予防についての考えは。

### 答弁:(総務部長)

法の概要は、「特定空家」に対して、助言指導・勧告・命令及び行政代執行ができるものであり、勧告された空屋の土地については、固定資産税の特例適用が除外される。市の条例では、勧告を行っている空き家が5件あるが、法の施行に基づき対策を推進したい。また、居住の有無を問わず、管理は所有者の責務であり、関係部局・地域の方と連携し、所有者への指導等を行っていく。

## 質問 西中町歩行者広場整備事業について

西九日町駐車場として、商店街等利用者のお客様駐車場とし、無料開放され、九日町にあるが、なぜ西中町なのか。また、駐車場のままではいけないのか。望まれない広場整備に3,000万円近い予算をかける必要があるのか。

### 答弁:(建設部長)

「西中町」は誤記であり、今後「西九日町まちかど広場」として事業推進にあたる。広場の理由は、苦情(利用者固定化、長時間の利用、ゴミの不法投棄等)が多く、国道325号線の電線地中化に併せ整備を行う。

## 質問 八千代座使用料について

- ① 八千代座等を商業・観光でPRしている今、値上げの理由。また、文化ホールの使用料の高額が指摘されている時に、改定をする必要性はあるのか。利用意欲を削ぐものではないのか。
- ② 市長の考えはどうか。

### 答弁:(①教育部長 ②市長)

- ① 八千代座審議会(P11※1参照)に諮った結果であり、商業的かどうかで利用者を分けた。利用意欲を削がない設定である。主催者側の収支状況ではなく、料金での算出である。
- ② 受益者負担の考えである。

## 質問 第3子以降の保育料について

第3子以降の保育料を就学前まで無料化について市長へ問う。

**答弁:(市長)** 単に保育料の引き下げといった経済面だけでなく、よりきめ細やかな総合的な施策によりさらに充実させていきたいと考える。

## 質問 あいのりタクシーの利用状況と今後の方向性について問う

山鹿「チヨマツ号」1日あたりの便数を減らすことで週3日へ運行の拡大はできないか。また、バス停から500m以内地域でのあいのりタクシーの利用はできないか。

**答弁:(市民部長)**

地域公共交通会議において協議し、承認を得る必要がある。今後、利用状況や利用者、事業者の意向の把握を行いたいと考える。また、バス停から500m以内の地域については、既存の路線バスを利用させていただくこととしている。

今後も、利用者の要望や各関係機関の意見を聞き、持続可能な公共交通体系の構築に努める。

## 質問 医療費の抑制について問う

「レセプト・健康情報等を活用したデータヘルスの推進」について平成25年12月定例会で質問をしているが、その後のデータヘルス計画に基づく保健事業の推進状況はどのようになっているか。

**答弁:(福祉部次長)**

平成29年度までを実施期間と定めた第1次データヘルス計画の策定を進めており、平成26年度に全体計画をまとめ、現在各論部分の策定作業を行っている。

データヘルス計画については、計画に基づく効果的な事業の展開とその検証及び見直しを継続する。そのことにより、国保被保険者の健康を守り、国保医療費の適正化に努める。



保育風景

## 質疑 八千代座等条例の一部を改正する条例について問う

今の時期に提案する理由は何か。

**答弁:(教育部長)**

八千代座審議会(※1)に諮り「市民レベルでの利用に影響を及ぼさないこと」「商業的利用者の利用意欲を削がない範囲であること」などの条件を付した答申を受け、新しい利用料金区分を設けることとした。施設利用申込み受付開始時期や周知期間を考慮したうえで、来年4月1日からの施行としたいので今回の提案とした。

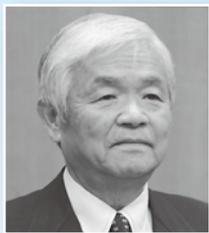
(※1) 八千代座審議会=教育委員会が委嘱し10人以内で構成され、八千代座等の管理及び活用等の重要な事項を審議する組織。

## 質問 太陽光発電について問う

- ① 太陽光発電設備の設置状況はどうか。
- ② 太陽光発電設備の固定資産税の課税について。

**答弁:(市民部長)**

- ① 住宅用太陽光発電システム設置状況は平成21年度から平成26年度までの補助金による支援の実績数が958戸、事業用太陽光発電設備に対する課税標準の特例の申請件数が90件となっている。
- ② 太陽光発電設備は、太陽光パネルが屋根材と一体となっている場合を除き償却資産に該当し課税の対象となる。設備を地上に設置している場合の土地の地目は、原則雑種地となり、経済産業省の認定を受けている設備等に対して、平成28年3月31日までに設置されたものは、新たな固定資産税が課税された年度から3年度分を申請に基づき固定資産税の課税標準となるべき価格を3分の2に軽減する。



永田紘二議員



八千代座

議会の主な動き

4月	1日(水)	消防本部発足式
	3日(金)	宇野親治公墓前祭
	5日(日)	温泉祈禱祭
	9日(木)	市内小・中学校入学式
	15日(水)	全員協議会 議会活性化特別委員会
	16日(木)	日輪寺公園つつじ祭り安全祈願祭
	17日(金)	岳間溪谷キャンプ場開き
	18日(土)	西南の役山鹿口慰霊祭
	20日(月)	市民福祉委員会協議会
	22日(水)	燈籠制作開始祭
5月	7日(木)	建設経済常任委員会
	8日(金)	全員協議会
	10日(日)	菊池川水防演習
	12日(火)	議会報告会(鹿北地区)
	14日(木)	議会報告会(菊鹿地区)
	16日(土)	議会報告会(鹿本地区)
	19日(火)	議会運営委員会 議会報告会(鹿央地区)
	23日(土)	議会報告会(山鹿地区)
	26日(火)	6月定例会開会 全員協議会
	6月	2日(火)
3日(水)		6月定例会質疑・一般質問・委員会付託
8日(月)		市民福祉常任委員会
11日(木)		建設経済常任委員会
12日(金)		総務文教常任委員会
15日(月)		議会運営委員会 建設経済常任委員会
18日(木)		議会活性化特別委員会
19日(金)		6月定例会閉会 全員協議会
22日(月)		百歳到達者表敬訪問
25日(木)		広報委員会

5月19日 富山県南砺市 新庁舎建設について

全国市議会議長会表彰受賞

6月17日に開催されました「第91回全国市議会議長会定期総会」(東京)において、市議会議員として、長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、2人の議員が特別表彰・3人の議員が表彰を受けました。



藤原 弘 議員  
(20年以上特別)



横手 啓介 議員  
(20年以上特別)



藤原 豊 議員  
(10年以上)



芹川 正美 議員  
(10年以上)



北原 昭三 議員  
(10年以上)

【表彰規定】

市町村合併により市制を施行した議員の場合は、町議会議員の勤続年数の2分の1を加算するものとする。

暑中お見舞い申し上げます

山鹿市議会 議員一同

公職選挙法により議員個々が暑中(残暑)見舞いを出すことは禁止されております。ご理解いただきますようお願い申し上げます。



議会を傍聴に来ませんか!

本会議及び常任委員会は公開されており、どなたでも傍聴することができます。

市議会の定例会は3・6・9・12月の年4回開催しています。

常任委員会の傍聴に関しては、先着順(12名)となっており、まずは、議会事務局にて当日受付をお願いします。(電話予約はできません。)また、現地調査には同行できませんので日程は事前にお問い合わせください。

お問い合わせ 議会事務局 TEL43-1634

編集後記

今年も山鹿の夏の風物詩「山鹿灯籠まつり」を迎える時期となりました。多くの方が歴史あふれるまち山鹿に来ていただけるものと期待をします。

早いもので、やまが市議会だよりも「第6号」の発行となりました。皆様に親しまれる「市議会だより」の編集に努めてきましたが、内容はいかがでしょうか。

6月定例会分より議会活性化の一環として、パソコンで一般質問の様子が山鹿市ホームページ(市議会)でご覧になれるようになりました。

今後、これまでに以上に議会において論議した内容をより分かりやすく編集しお伝えしたいと思います。

ご意見・ご要望等ありましたら遠慮なくお聞かせいただけますと思います。

広報委員 北原昭三

